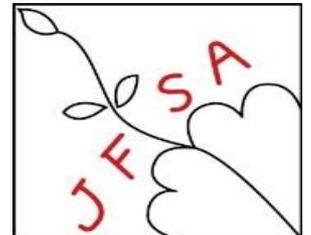


2017.11.25 「全国患者・家族集会2017」

理解されにくい痛み ～誰にでも起こること～

NPO法人線維筋痛症友の会

橋本 裕子



線維筋痛症(Fibromyalgia 略称FM) とは

全身の慢性疼痛が続く、原因不明で難治性の病気です。全身の筋肉痛、関節痛、疲労、睡眠障害、頭痛、こわばり、しびれ、不安・抑うつ、ドライアイ・ドライマウスなど様々な症状を伴います。

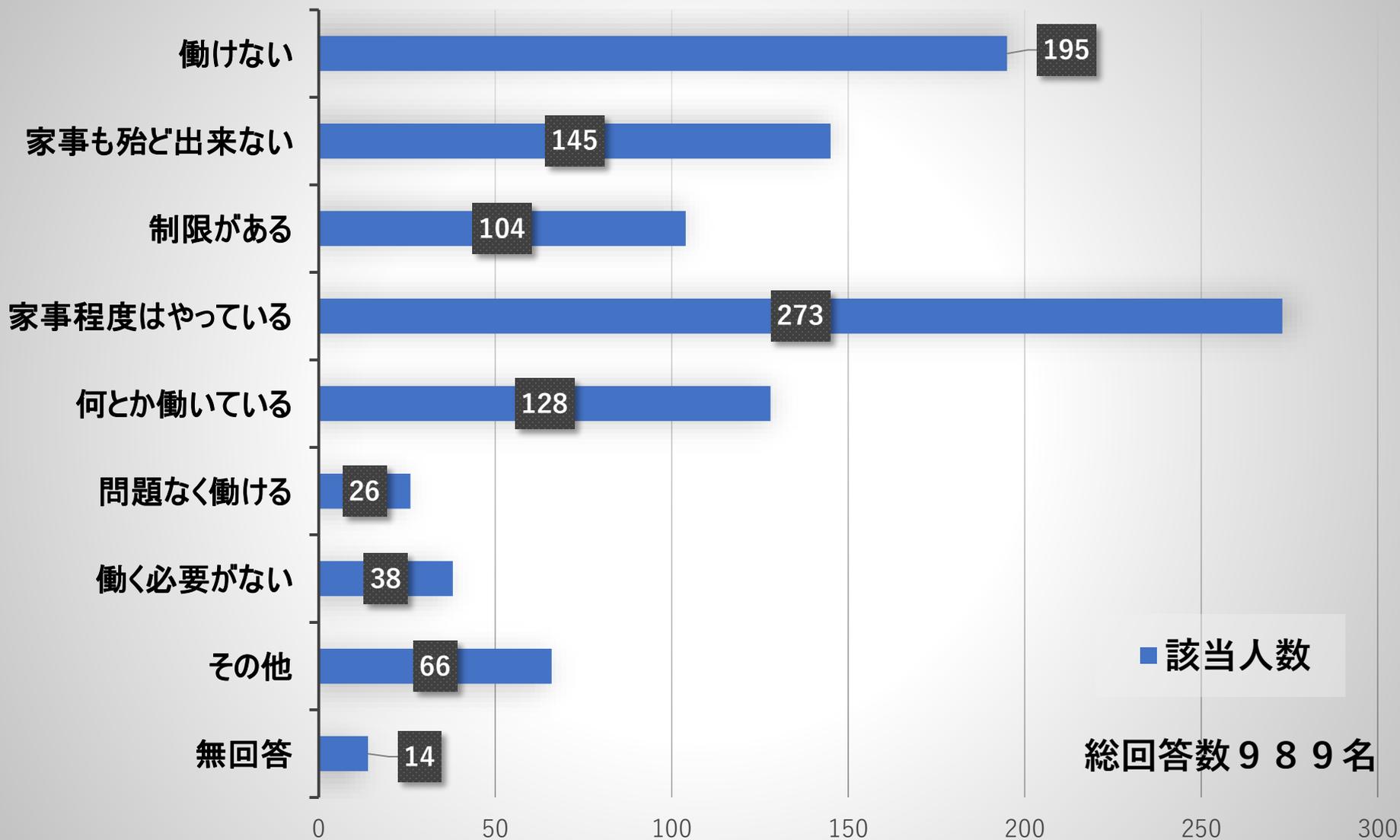
そのため、仕事や家事や通学などの日常生活が困難になりますが、見た目では分からないので、家族や周囲の人達に理解されにくく、詐病と誤解されることもあります。

線維筋痛症(Fibromyalgia 略称FM) とは

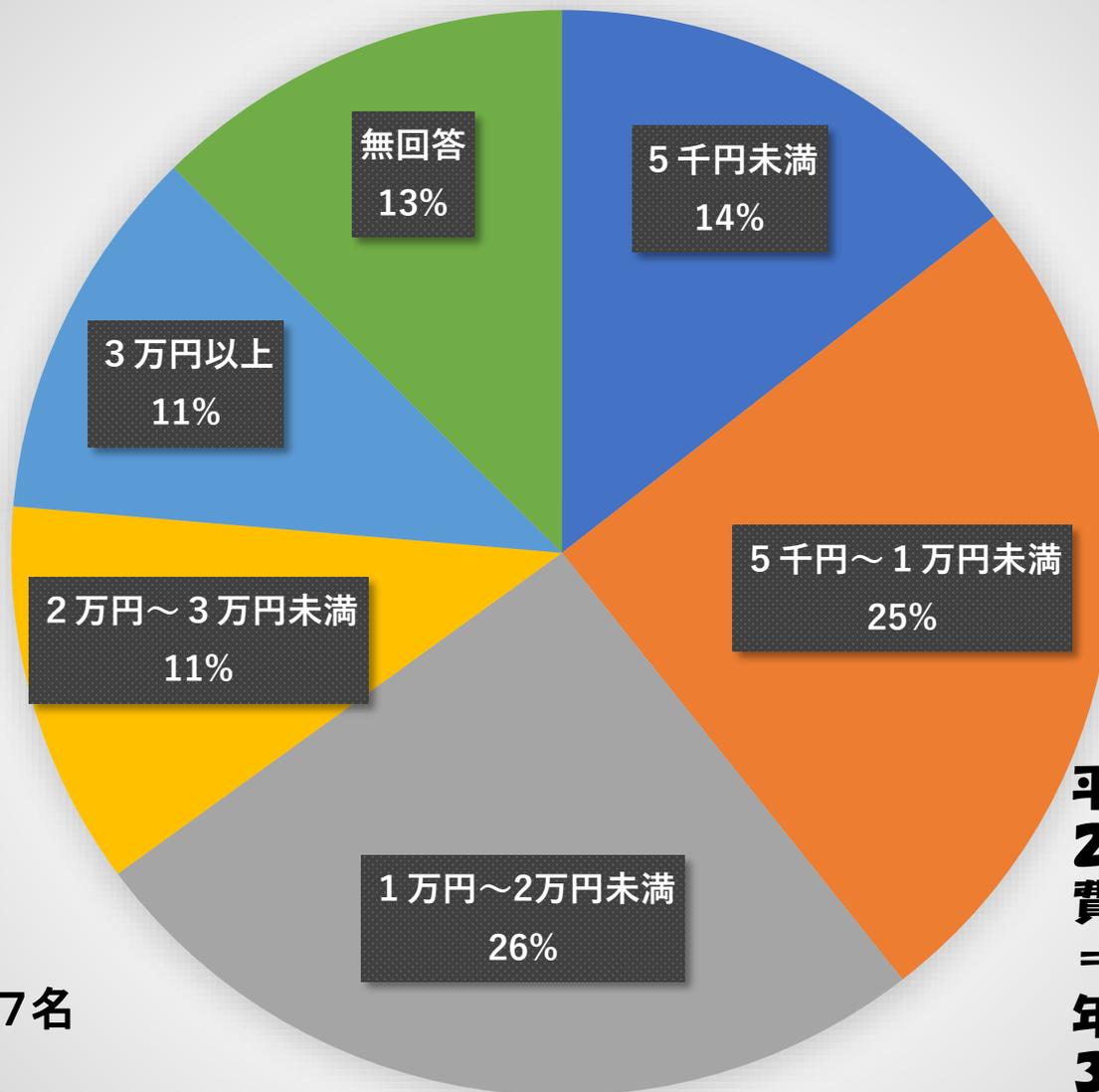
日本における有病率は人口の1.66%、推定200万人の患者がいます。年齢は働き盛いの30・40代が多く、男女比は1対4です。その中に15歳以下の小児が5%もおり、「不登校」となる一因とされています。

一般的な血液検査や画像診断で異常所見はなく、確定診断できる検査方法はありません。日本では専門医が少ないため、確定診断まで何年もかかる患者がたくさんいます。

就労について 「FM白書2016」より



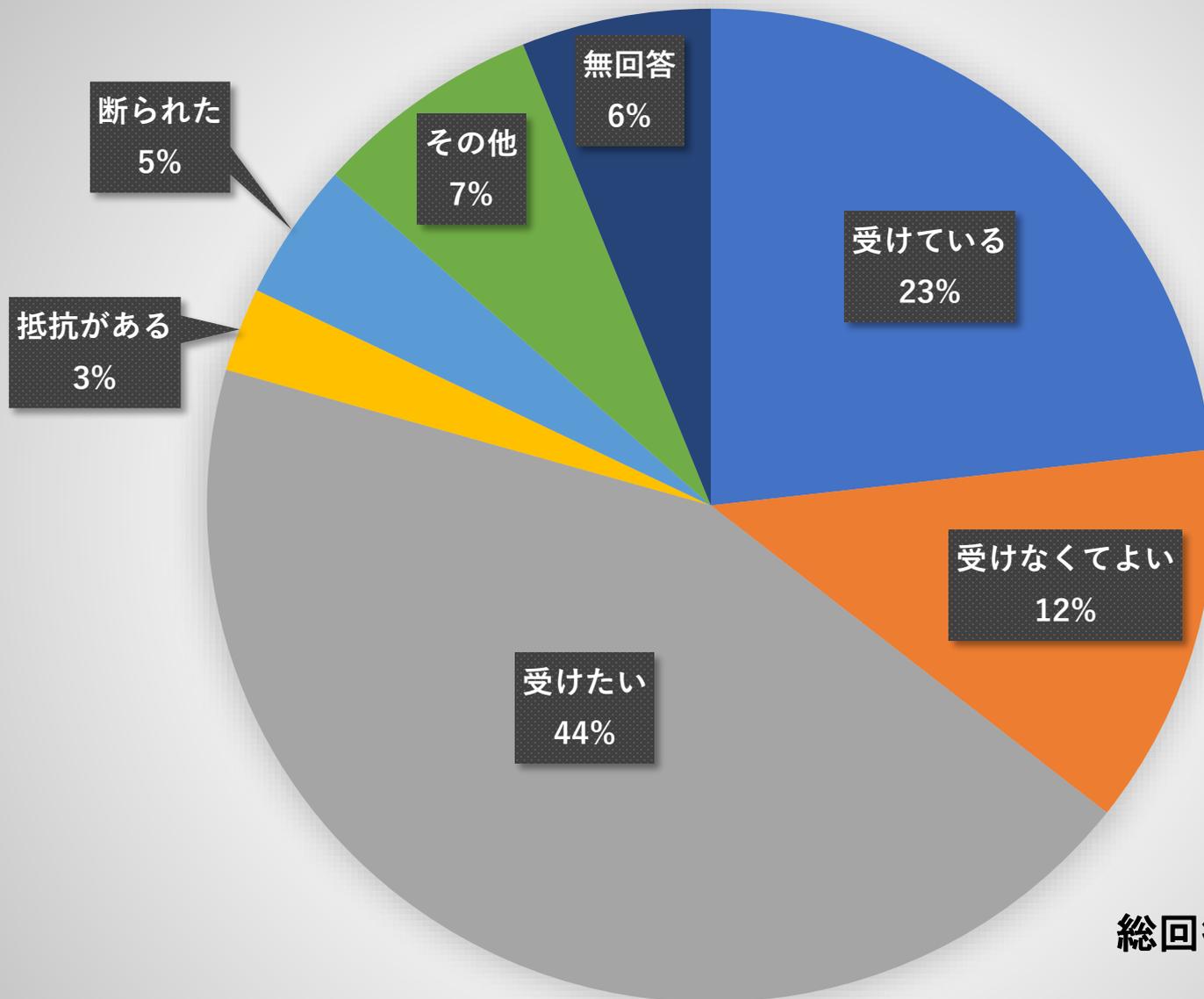
医療費の自己負担額(月額) 「FM白書2016」より



平均の直接医療費
2万円 + 間接医療費(交通費)**1万円**
= **3万円/月**
年間の平均医療費
36万円

総回答数787名

医療費の補助 「FM白書2016」より



総回答数806名

少しでもサポートがあれば・・・

- ・慢性の痛みは、誰にでも起こることです。
- ・痛みや疲労の困難を抱えて生きるのはとても難しい。
- ・回復すれば働きたい。
- ・「必要な時に・必要な人に・必要なだけ」福祉が必要。
- ・線維筋痛症患者の「痛みや疲労による生活上の困難」を、生活機能障害として認め、そのための制度の整備をおこなってください。難病医療法の医療費助成や、障害者総合支援法のサービス受給の対象にしてください。

私たちの要望すること

- 1. 全国どこに暮らしていても線維筋痛症の適切な診断・治療が受けられる体制を整えてください。**
- 2. 線維筋痛症の根本的な病因や、病型分類に関する調査研究をさらに進めてください。**
- 3. 重症線維筋痛症(推計12万人程度)患者の実態把握につとめ、治療研究や患者の生活支援、身体障害者の認定、障害年金の給付。ADLの支援、重症化を防ぐため、介護保険への適応拡大してください。**
- 4. 若年性線維筋痛症の実態を早急に把握し、学校等教育機関への疾患に対する理解を促すなど、必要な施策を講じてください。**
- 5. 慢性痛の総合的、横断的治療の調査研究を深め、課題を整理して具体的施策につなげてください。**